



令和8年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年7月13日

上場会社名 アクサホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）久岡 卓司
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営管理部長 （氏名）新藤 達也 TEL 078-391-4000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年8月期第3四半期の連結業績（令和7年9月1日～令和8年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
8年8月期第3四半期	9,530	3.0	214	37.9	55	108.8	262	—
7年8月期第3四半期	9,254	3.2	155	777.1	26	—	△29	—

（注）包括利益 8年8月期第3四半期 328百万円（－％） 7年8月期第3四半期 △30百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年8月期第3四半期	8.66	—
7年8月期第3四半期	△0.99	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
8年8月期第3四半期	16,907	2,460	14.6	81.13
7年8月期	15,683	2,198	14.0	72.49

（参考）自己資本 8年8月期第3四半期 2,460百万円 7年8月期 2,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
8年8月期	—	0.00	—		
8年8月期（予想）				2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和8年8月期の連結業績予想（令和7年9月1日～令和8年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 13,172	% 8.6	百万円 432	% 162.5	百万円 283	% －	百万円 250	% 13.0	円 銭 8.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年8月期3Q	30,325,252株	7年8月期	30,325,252株
② 期末自己株式数	8年8月期3Q	1株	7年8月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年8月期3Q	30,325,251株	7年8月期3Q	30,325,251株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（令和7年9月1日から令和8年5月31日まで）のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により経済情勢は緩やかな回復基調が見られる一方で、米国・イスラエルによるイラン攻撃を発端とするエネルギー価格、原油由来の原材料の高騰に伴う物価上昇が顕著に見られ、消費者の節約志向は強まっております。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和8年4月、一般化粧品をはじめ、インポートコスメ、食品、雑貨、ファッションアイテム、酒類等、日々の暮らしを楽しく彩るアイテムを幅広く取り揃えたアレックコンフォートフォレオ大津一里山（滋賀県大津市）をオープンいたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、42店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、売上高は9,530百万円（前年同四半期比3.0%増）となり、営業利益は214百万円（同37.9%増）、経常利益は55百万円（同108.8%増）となりました。特別利益、特別損失及び法人税等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失29百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、美容室専売品のヘアトリートメント等、プレミアムヘアケア商品の販売が好調に推移した一方で、キッチン、食材関連の販売が苦戦いたしました。

ライフスタイルユニットでは、レディースアパレルのトップスの販売が好調に推移した一方で、前年同四半期好調だったバッグ部門等の販売が苦戦いたしました。

アスレユニットでは、バッグやメンズスポーツカジュアルウェアの販売が好調に推移した一方で、Jリーグのシーズン移行措置によりプロサッカーチーム関連の販売が剥落いたしました。

ホームキーパーユニットでは、ツヤ感のある立体的シールの販売が好調に推移した一方で、原材料価格高騰による値上げの影響で、筆記具やファイルカテゴリー等の販売が苦戦いたしました。

アルコユニットでは、長期樽熟成した福岡県のリキュールや、フランス修道院の伝統的なハーブリキュールの販売が好調に推移した一方で、前年同四半期好調だったウイスキーやテキーラ等の販売が苦戦いたしました。

ECユニットでは、人気定番商品のクレンジングウォーターやシューズ、アウトドアブランドのアウトター等の販売が好調に推移した一方で、長引く円安の影響で販売価格を見直したアルコールカテゴリーの販売が苦戦いたしました。

これらの結果、売上高は5,827百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は144百万円（同0.1%減）となりました。

② 卸売事業

卸売事業につきましては、一般消費材の継続的な値上げによる商品価格の値上げ等により主力商品の販売が苦戦した一方で、需給バランスの調整や地政学的要因による商品供給の不安定化を背景にラグジュアリー性の高いシャンパン等、一部の商材で需要が拡大いたしました。また、六甲山蒸溜所においては、自社蒸溜ウイスキーの発売及びハイボール缶の販売拡大により売上高は伸長いたしました。

これらの結果、売上高は3,561百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は92百万円（同23.0%増）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、引き続き既存テナントから安定した売上を確保するとともに、キャピタルゲインを含めた譲渡価額が、想定する運用期間における将来キャッシュ・フローを上回る一部物件につきましては譲渡を実施しております。

これらの結果、売上高は681百万円（前年同四半期比30.3%増）、セグメント利益は228百万円（同22.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,907百万円（前期末比7.8%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,223百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産588百万円及び有形固定資産823百万円等の増加に対し、販売用不動産662百万円等の減少によるものであります。

負債合計は14,446百万円（同7.1%増）となり、前連結会計年度末に比べ961百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金600百万円及び1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金142百万円等の増加によるものであります。

純資産合計は2,460百万円（同11.9%増）となり、前連結会計年度末に比べ262百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益262百万円等による利益剰余金の増加に対し、配当金の支払60百万円等による利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は14.6%（前期末比0.5ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和7年10月14日付「令和7年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,867	1,161,981
売掛金	570,583	684,945
棚卸資産	4,835,517	5,424,505
販売用不動産	1,347,358	684,530
預け金	7,456	7,779
その他	271,631	194,566
流動資産合計	7,833,414	8,158,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,750,595	1,938,020
機械装置及び運搬具（純額）	208,425	181,882
什器備品（純額）	197,331	159,369
リース資産	29,245	24,558
土地	3,660,153	4,365,750
有形固定資産合計	5,845,750	6,669,582
無形固定資産		
のれん	518,164	488,387
借地権	58,348	58,348
ソフトウェア	77,125	59,030
ソフトウェア仮勘定	—	1,650
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	661,461	615,238
投資その他の資産		
投資有価証券	197,355	291,093
繰延税金資産	247,632	212,701
敷金及び保証金	559,572	568,258
破産更生債権等	4,686	4,686
その他	326,804	384,162
貸倒引当金	△4,686	△4,686
投資その他の資産合計	1,331,365	1,456,216
固定資産合計	7,838,577	8,741,037
繰延資産		
社債発行費	11,443	7,953
繰延資産合計	11,443	7,953
資産合計	15,683,435	16,907,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和8年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	481,447	726,732
短期借入金	8,480,000	9,080,000
1年内返済予定の長期借入金	348,461	582,729
リース債務	9,433	8,759
未払法人税等	32,725	9,926
賞与引当金	18,014	28,852
未払金	175,238	162,092
その他	88,089	86,730
流動負債合計	9,633,410	10,685,822
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,419,996	2,328,436
リース債務	23,414	18,853
役員退職慰労引当金	100,939	101,122
資産除去債務	199,671	209,273
受入保証金	292,226	296,040
繰延税金負債	2,719	2,719
その他	12,911	4,617
固定負債合計	3,851,878	3,761,063
負債合計	13,485,288	14,446,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,686,487	1,686,487
利益剰余金	398,066	600,166
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,134,553	2,336,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,593	123,758
その他の包括利益累計額合計	63,593	123,758
純資産合計	2,198,146	2,460,412
負債純資産合計	15,683,435	16,907,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年9月1日 至 令和8年5月31日)
売上高	9,254,936	9,530,999
売上原価	6,928,962	7,118,280
売上総利益	2,325,974	2,412,719
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	611,499	670,171
その他	1,558,888	1,527,983
販売費及び一般管理費合計	2,170,387	2,198,155
営業利益	155,586	214,563
営業外収益		
受取利息	4,728	6,793
受取配当金	1,868	2,432
共済解約手当金	10,230	—
その他	3,407	3,435
営業外収益合計	20,235	12,662
営業外費用		
支払利息	121,855	128,941
為替差損	2,839	23,338
その他	24,760	19,888
営業外費用合計	149,454	172,169
経常利益	26,367	55,057
特別利益		
固定資産売却益	6,000	238,662
資産除去債務戻入益	5,361	—
特別利益合計	11,361	238,662
特別損失		
固定資産除却損	1,054	282
閉店損失	42,822	2,352
訴訟関連損失	4,090	5,941
特別損失合計	47,967	8,575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,238	285,143
法人税、住民税及び事業税	18,455	21,034
法人税等調整額	1,292	1,358
法人税等合計	19,748	22,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,986	262,750
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,986	262,750

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年9月1日 至 令和8年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,986	262,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△980	65,870
その他の包括利益合計	△980	65,870
四半期包括利益	△30,967	328,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,967	328,621

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不 動 産 事 業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	5,506,049	3,228,235	—	8,734,284
その他の収益	—	—	519,394	519,394
外部顧客への売上高	5,506,049	3,228,235	519,394	9,253,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	400,968	290,778	3,627	695,375
計	5,907,017	3,519,013	523,021	9,949,053
セグメント利益	144,600	75,062	186,891	406,555

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額 (注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,258	8,735,542	—	8,735,542
その他の収益	—	519,394	—	519,394
外部顧客への売上高	1,258	9,254,936	—	9,254,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	695,375	△695,375	—
計	1,258	9,950,311	△695,375	9,254,936
セグメント利益	547	407,102	△251,516	155,586

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△251,516千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和7年9月1日 至 令和8年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不 動 産 事 業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	5,494,213	3,354,673	—	8,848,887
その他の収益	—	—	681,342	681,342
外部顧客への売上高	5,494,213	3,354,673	681,342	9,530,229
セグメント間の内部売上高又は振替高	333,339	207,325	—	540,665
計	5,827,553	3,561,999	681,342	10,070,894
セグメント利益	144,509	92,349	228,222	465,081

（単位：千円）

	その他（注）1	合 計	調整額（注）2	四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額（注）3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	770	8,849,657	—	8,849,657
その他の収益	—	681,342	—	681,342
外部顧客への売上高	770	9,530,999	—	9,530,999
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	540,665	△540,665	—
計	770	10,071,664	△540,665	9,530,999
セグメント利益	529	465,610	△251,046	214,563

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△251,046千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年9月1日 至 令和8年5月31日)
減価償却費	242,791千円	226,570千円
のれんの償却額	29,777千円	29,777千円